

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	－	－
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・お中元時期等もあり、贈答品の売上が見込まれる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・暑くなってくれば飲料の需要が高まり、売上が増加する。
	○	コンビニ（店長）	・気温が高くなると、飲料やアイスクリームが売れて売上也増加することで当店の景気は良くなる。
	○	家電量販店（店員）	・梅雨明けとともにエアコン需要は回復する。
	○	家電量販店（企画担当）	・梅雨明けに伴って、省エネ基準の改定を背景としたエアコンの売上伸長が期待できる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーでは、新車種の生産がほぼ順調に進んでおり、前年比110%を超えつつある。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・季節も変わり、人の動きが活発になると予想している。実際に夏の宴会の問合せが増えている。
	○	一般レストラン（経営者）	・梅雨が明け、夏休みシーズンになれば、イベントが増えて客足も良くなる。
	○	観光型ホテル（経営者）	・夏から秋に向けてハイシーズンになり、やや良くなる。
	○	都市型ホテル（経営者）	・インバウンドが若干、増えてきている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門は、夏休みから秋に向けてイベント等も充実しているため、予約状況からも良くなると判断している。
	○	旅行代理店（従業員）	・やや良い状況が続くと期待している。
	○	タクシー（経営者）	・昼の動きが良くなってきたので、この先も良くなる。
	○	美容室（経営者）	・食品ほか日用品の値上げが家計を圧迫し始めている。引き続き、重点支援地方交付金によるプレミアム付商品券を利用したフリー客が期待できる。
	□	商店街（代表者）	・ガソリン価格が高くなる可能性や金利上昇が懸念される。この先も物価上昇の動きが加速するなかで、店舗を改装するかちゅうちょしてしまう。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・中東情勢が落ち着きそうで助かるが、依然として石油の影響が大きい。これでは景気は良くならない。経済情勢が恐ろしいほど変化しており、ついていけない。
	□	百貨店（営業担当）	・梅雨の本格化に伴い、傘や冷涼商材の売上が目立っている。これからクリアランスセールや夏のレジャー、お盆や帰省対応商材の動きが活発化してくる。必ず需要があるものなので、取りこぼしがないう、かつ、プラスワンの購買を促す準備をしていく。
	□	百貨店（店長）	・来客数が前年を下回る状況が続いている。富裕層の購買は維持できているものの、中間層の来店や売上が前年を下回る状況が続いている。物価上昇や各種値上げは当面変わらない環境が想定されるため、今後もこの状況が続く。
	□	スーパー（総務担当）	・中東情勢が落ち着いて、食料品の消費税が1%への減税となれば、良くなるかもしれない。
□	コンビニ（エリア担当）	・夏休み期間に向けて観光客や帰省客の利用増加が期待される。一方で、物価上昇による節約志向は継続するとみている。駅の利用者数は一定水準を維持すると見込むが、大幅な消費拡大は期待しにくい。今後2～3か月の景気は現状と大きくは変わらない。	
□	コンビニ（店長）	・商圈内の商業施設が廃業等で少なくなっているため、来客数の増加が見込めない。	
□	衣料品専門店（経営者）	・状況が大きく変わる要素が見当たらない。	
□	乗用車販売店（従業員）	・販売台数は前月並みで推移しており、本格的な回復には至っていない。	
□	自動車備品販売店（経営者）	・特に悪くなるというようなこともないが、街を歩いても高齢者が目立ち、長期的には少子化の影響で活気がなくなる。先々に良くなる雰囲気はなく、現状のままで変わらない。	
□	住関連専門店（仕入担当）	・各商品群の値上げ発表が相次ぎ、物価高に対する防衛姿勢はより顕著になっている。熊騒動や台風の連続接近などネガティブな要因が多く、先が全く見通せない。	

□	その他専門店（総務担当）	・在庫不足の解消に不安がある。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・酷暑等が予想される天候の影響が、どのように出てくるか分からない。良くなる材料が少ないため、ビジネス利用等が横ばいならば良しと考えている。
□	一般レストラン（経営者）	・中東情勢を受け、ガス料金の値上げ通知が来ている。これから夏本番を迎え、電気料金も上がるため、かなりの痛手である。これは一般家庭も同様で、外食機会は減るとみている。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食は安定供給が使命だが、先行きが不透明な状況で、食材や資材類の安定確保や価格抑制が大きな課題になると懸念される。取引業者を通じて、複数の調達ルート確保などを考える契機となっている。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・レストラン、宴会売上に関しては、いずれも前年はクリアできそうである。中東情勢の不透明感が影響しているのか、ビジネス利用客の宿泊が前年よりも数字を下げている。レジャーやプライベート利用が増える8月に料金をコントロールして、しっかり利益の最大化を目指したい。
□	旅行代理店（所長）	・現状、良くなる要素も悪くなる要素も見当たらない。
□	旅行代理店（営業担当）	・ボーナスの状況にもよるが、可処分所得が上がらない限り、景気回復は見込めない。
□	タクシー運転手	・地方では景気が悪い状態がしばらく続きそうである。
□	通信会社（営業担当）	・プラスになる経済支援策が特にないため、現状とほぼ変わらない状況が続く。
□	テーマパーク（職員）	・円安や物価高騰でレジャー費は後回しとなり、入園者数に影響が出るとみている。また、仕入価格高騰による価格転嫁で購買力が低下するといった不安材料が多くある。
□	設計事務所（所長）	・世界情勢が回復しないと良くならない。
□	住宅販売会社（経営者）	・最近是不動産に関する問合せ等の動きが本当に少なく、引き合いもない。電気料金その他いろいろと上がっているものの、家賃を上げられない状況である。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・建築資材の高止まりはしばらく続くと各業者から聞いている。必要に迫られた案件以外は、なかなか受注に結び付かない状況が続く。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・国内旅行者は、物価高により購買意欲、購買力共に落ちている。また、インバウンドも同様、世界情勢の影響なのか落ち込んでいる。これから夏休みやお盆休みに入るが、旅行に来ることにお金を掛けて土産物購入等には支出しないのではないかと危惧している。
▲	スーパー（商品部担当）	・物価高支援策で一時的に売上は良かったものの、値上げラッシュや中東情勢の影響等を考えると良くなることはなく、厳しい商売が続く。
▲	旅行代理店（経営者）	・今年は9月の大型連休があるため、団体旅行は減少する。
▲	通信会社（社員）	・当社サービスにおける仕入原価の上昇のほか、維持コストが増加している。今後は顧客サービスの質を落とさず、販売単価の見直しも視野に入れている。
▲	通信会社（総務担当）	・新モデルが出始めたが、以前人気だったハイスペックモデルは、軒並み当時の3倍超の価格となり、手が出せなくなっている。
▲	通信会社（局長）	・現状、原油の輸入等に関して先行きが見通せず、補助金もいつまで継続されるか不透明である。夏になれば電気代の高騰も予想され、生活必需品や食料品の値上げもいつまで続くか不透明である。金利は上昇し、住宅ローンや自動車ローン等も条件が悪くなるため、高額品の買い控えが起きるとみている。お金が回りながら景気回復していくことを、一般消費者の生活では想像ができない。株価は上昇しているが、生活のなかでの実感はないため、買い控えは依然として続き、景気回復には至らない。
▲	ゴルフ練習場（経営者）	・今後も販管費の上昇が見込まれ、利益を圧迫すると予想される。
×	家電量販店（営業担当）	・原材料価格の高騰や入荷不足のため、仕入単価は大幅な高騰が続く。
×	乗用車販売店（経営者）	・世界情勢の不安定さもあるため、悪くなる。

	×	ゴルフ場（従業員）	・コース内へのカート乗り入れなどは行っているものの、今夏は全国で酷暑日の影響が出ると予測されている。物価上昇に歯止めがかからず、食材や資材、エネルギーコストの高騰が続く。
	×	住宅販売会社（経営者）	・原油不足による流通の目詰まりからコスト面や工期に影響が出て、景気が悪くなる要因が多い。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・中東情勢が安定し、原油やナフサ問題も解決されると期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・中東情勢の影響により、前年秋頃から数量が落ちていた自動車向けの部品に増産計画がある。半導体製造関連部品も同時期に前年比1.5倍の計画があるため、状況は上向く。
	○	金融業（営業担当）	・石油由来の製品についても動きが出始めている。ただし、価格転嫁がうまくいくかどうかは課題だが、引き上げるチャンスはある。価格を上げやすい状況である。
	□	食料品製造業（経営者）	・社会全体が物価高騰に疲れてきている。物価の上昇に賃上げが追い付かず、消費者の節約志向は更に強烈になっていくことが予想される。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・物価が高くなっているが、これ以上は悪くはならない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・ほとんど変わらずに推移する。
	□	金属製品製造業（経営者）	・世間でも良いニュースを聞かないため、変わらない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先からは、景気回復、売上増加となる要素が感じ取れない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の情報や受注状況から、3か月先もほぼ変化はない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先が10数社あるが、全て減少している。今後は世界情勢が解消しないと、なかなか良くならないとみている。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況なども、依然として続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・いよいよ7月は夏本番となり、エアコン、扇風機、サーキュレーター等の夏物家電は前年並みの物量を確保予定である。しかし、車両やドライバー不足、また、エンジンオイル不足等の問題もあり、経費が増えて採算的には厳しい状態になる。
	□	経営コンサルタント	・世界情勢下で、諸物資の供給不安と価格上昇の懸念がぬぐえず、業況への先行き不安を抱いている中小企業が少なくない。そのため、先行きの見通しは、好転と悪化の見方が混ざっており、全体としてならずと変わらない。
	□	司法書士	・いつもと同じで良くなることも、特に悪くなることもない。静かな街で、同じように時間が流れていく。
	□	社会保険労務士	・今まで同様、現状のままとみている。
	▲	化学工業（管理担当）	・材料価格が高止まりしている。また、入手困難なものも出てきている。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産は、ほぼ計画どおりに進んでいるが、中東情勢の影響で生産に関わる資材価格の高騰と、いろいろな身の回りの物価が高騰している。こうした値上がりにより中東情勢が安定しても下がるとは考えにくい。先行きに不透明感がある。
	▲	建設業（総務担当）	・ようやく発注が多くなってきたが、全体的な業務量はやはり足りていない。今後の発注見通しをみても、多くはないため不安である。
	▲	広告代理店（営業担当）	・個人飲食店の閉業が目立っている。材料費、人件費、光熱費等の経費高騰等、集客だけではない問題が、かなり影響している。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が3分の1くらいまで落ちている。本当に厳しく、給料も払えないような状況になっている。
×	不動産業（管理担当）	・現在欠員がある状態で、何とか業務を回しているが、人材の補充ができないうちに退職予定者が出る状態である。人手不足により業務量を減らすことになれば、事業規模の縮小を考えなければならない。	
雇用 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品製造が増え、派遣の増員依頼があるため今後はやや良くなる。

いし因木	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・国産米等の価格が5キロ単位でも大分安くなっており、2000円台というところが多くなっている。野菜は天候次第で、現在は安値で安定しているが、高くなっていくとみている。衣料品等、食料品雑貨も天候次第の面があるものの、雑貨に関しては100円ショップが結構目立って、購買力が高くなっている。製造に関しては若干人手不足で、生産も今後どのような動きになるか分からない状態で、模索している。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・今頃になって国際情勢の影響が、やや出てきている。ただし、実際にはインバウンドの客数はそれほど変わっていないようである。物産物店や周辺企業に話を聞くと、やはり原材料や仕入価格が上がっているためかなり苦しく、値上げもせざるを得ないとのことである。また、最低賃金がどれだけ上がるのかという不安要素もあるため、先の見通しとしてははっきりとは分からない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・近隣で新設工場が立地することもなく、輸送機器の部品メーカーでは採用を抑制している。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数が、前年同月と横ばいの状態で推移している。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・中東情勢によって業界での動きは異なるが、求人の動きは今後も大きな変化はないとみている。
	▲	—	—
	×	*	*